

名古屋北部民商ニュース

名古屋北部民主商工会
〒462-0035 北区大野町3-19
TEL (052)915-8111
FAX (052)915-8114
E-mail jimukyoku@hokubuminsho.stl.jp

平和でこそ商売繁盛！原水爆禁止世界大会成功を！

核兵器廃絶へ 被爆者の声を語り継ぎ世界に広めよう！

7月22日(火)午後7時から、愛商連平和部会主催「商売と平和」学習会に、北部民商から、西支部の鬼束恵美子さんと事務局で参加しました。愛知県原水協の代表理事大村義則さんを講師に「被爆80年世界大会の意義」について学習。大村さんは、「自分自身、父親が被爆者と知ったのは30年前」「それだけ、被爆者は、世間に知られたいと葛藤し、苦しんできた」と語りました。「日本もアメリカも原爆被害の実態を隠した。就職や結婚で差別や偏見も多く、隠し通した人も少なくない」「被爆者が立ち上がり、悲惨な経験を語ることで、核抑止論を打ち破り、核兵器禁止条約の普遍化へとつなげる世界大会を成功させましょう」と呼びかけました。鬼束さんは、「誘われて、初めて原水禁大会へ参加することになりました。今日、こういうお話を聞いて、今まで多くの方が、本当に苦しんできたのに、自分は今まで知らずにきてしまった。申し訳ない気持ち」と話しました。南民商から参加した会員は、「本当の話が聞きたいと、参加しました。あまりにも、すごい話を聞いてしまって、ショックを受けています。参加して良かったです」と感想。



東部民商事務局の千種さんは、「原水禁大会は2回目の参加。核兵器禁止条約が決議されたとき、自宅で拍手しました。今回も、しっかり勉強してきたい」と元気よく発言。大村さんは、「戦火が絶えない世界の状況を見ると、あきらめそうになるかもしれないが、私たちは、あきらめたらいけない」と激励の言葉で締めました。平和部会部長の森さん(愛商連会計)が、「昨日の聞き手は明日の語り手と言います。被爆者の方が高齢になるなか、私たちが語り部となって平和の運動を広げていきましょう」と挨拶し、閉会しました。~

被爆80年の節目の原水禁大会(8/4-6広島)に北部民商から鬼束恵美子さん、岩満裕美子さんの2名が参加します。

夏季休業のお知らせ

8月13日(水)～15日(金)まで夏季休業とさせていただきます。

8月18日(月)からは通常業務です。

<商工新聞>

8月11日号は休刊、

8月18日号を

8月6日～7日に配達係の方へ卸します



税務署から「収支内訳書」の督促が…

7月下旬から「税務署から封筒がきた」「収支内訳書を出さないといけないのか」と民商へ問い合わせが続いています。白色申告者の収支内訳書は提出しなくても罰則はありません。

1984年、民商・全商連は税務当局による総収入金額の報告や収支内訳書添付の義務化などの策動に対して、大型間接税の布石、強権的な税務調査や推計課税の合法化という真の狙いを暴き、600万人分を超える個人署名と1万8千余の団体署名、37万枚の要請ハガキなど運動を強め、罰則規定を骨抜きにさせました。

「収支内訳書」にどう応えるかは、納税者本人が決めることです。

民商として毎年行っている税務署交渉でも「収支内訳書の提